



▶ 旭日小綬章の勲記・勲章と武富さん



▶ 「叙勲に与り、多久聖廟300年祭の事業に役立ててください」とふるさと納税の寄附をされる武富さん

## 武富健一さんに旭日小綬章

### 受章記念にふるさと納税の厚情

2008年春の叙勲で前市議会議長の武富健一さん（北多久町東原）が旭日小綬章を受章され、5月12日に東京都内の伝達式に出席。皇居では天皇陛下に拝謁（はいえつ）されました。

武富さんは、青年団活動、消防団、育友会活動や農協運営などに関わり、長年に亘る市議会議員として尽力。地域づくり運動にも貢献され、数多くの功績が高く評価されました。戦後の激動と繁栄を遂げた昭和の時代、多久市の産業の発展などに心血を注がれたお一人で、「移り変わる時代の中で、自分に何ができるのか、みんなと一緒に何ができるのかを原点に、ただ一筋に地域の発展と市民の幸せを願ってきた。天皇陛下からも親しく激励を賜り、感無量でした」と喜ばれていました。

そして、「今後も精進し、ご恩返しをしたい」と、6月20日に、この報告とお礼に市役所を訪問され、ふるさと納税者第一号として、多久市への寄附を横尾市長に渡されました。

## 多久スポーツピアにみなさんも参加しませんか？

### 会員交流のイチゴ狩り

5月25日に多久スポーツピアによるイチゴ狩りが、多久町の陣内成和さんのハウスを借りて開かれました。

人気の高い恒例の催しとあって、当日はスポーツピアの会員約80人が参加。外は曇り空でも、ハウスの中では、10分もすれば、額には汗が浮かぶほどの暖かさ。それでも参加者は「ジャムにしたい」「もちろんこのまま食べる」と一時間ほど思い思いに、イチゴの摘み取りに没頭。子どもたちは自慢げに摘んだばかりのイチゴをカメラに向けてくれました。

スポーツピアでは各種の運動教室の他にも、このようにユニークで楽しい催しを開いています。運動不足気味の方にはもちろん、イベントを楽しみたい方にもお勧めします。



▲ 摘み終わったところで会員のみなさんで大集合。さて、誰が一番多く摘んだのでしょうか？



▲ 「たくさん植えることができていると楽しい」と初めての植え付けを体験する園児や交流を楽しむ入所者

## 大きくなあれ!! サツマイモ♪

### しみず園が園児を招き野菜畑で交流

救護施設しみず園（清水泰輔園長）は6月13日、施設が管理している畑に多久保育園の15人とカトリック幼稚園の10人の園児を招き、サツマイモの苗を植え、ふれあいを深めました。

地域との共生を目指した活動の一環で、入所者の中でも農作業クラブに所属し、1年を通して数多くの野菜を栽培管理している20人と職員らが園児に教えながら、約400本のサツマイモの苗を植え付け。シャベルで土を掘って、仲良く苗を植えると「大きくなあれ」や「でっかくなあれ」と声を揃えながら土をかぶせました。11月初旬収穫予定で、元気でおいしいサツマイモがたくさん実ることを願っていました。